



しばた議会だより



「議会ネット中継」への
QRコード

※詳しくは、柴田町ホームページ
を参照してください。



健やかに育ってネ!



新春対談

町長「町民が主役のまちづくりへ」

「議会改革をさらに進める」議長



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
 (議員一同)
 新春にあたり、滝口町長と高橋議長が、これらの防災対策、議会改革について対談しました。



—令和元年はどんな年でしたか？—
 滝口町長(以下町長) 桜まつりに東南アジアをはじめ多くの外国人観光客にお越しいただいたこと。学校環境整備が一挙に進んだこと。台風19号により、町内に大きな被害がでたことです。
 令和元年度は明と暗が混在した年でした。
 高橋議長(以下議長) 議論を深め、一歩踏み込んだ議会活動ができた一年でした。議員間討議や提案など試行錯誤しながら進めてきました。予算決算の政策サイクルなどへの取り組みをはじめ、大変忙しい年だったと感じています。

—台風19号について—
 町長 台風と地震では、対応

応が違うことです。職員は、排水ポンプなどの準備や調整をしています。その調整に時間がかかることも知ってほしいと感じました。情報の出し方と避難所運営では、日頃から防災意識の向上を図りながら訓練していかないと、いざというときに対応できないというのが反省点です。

防災意識向上を

議長 議員からの情報収集、対策本部からの情報を得た部分を踏まえて、各常任委員会でも調査を執行部に提出しました。災害対応に完璧はないと思いますが、議会、議員としても

町長 議会と連携した中で議員からもらった情報だと対応しやすいですね。

—令和2年の抱負を—
 町長 都市の器となる立地適正化計画を策定します。町民の意見を取り入れて、安心安全をベースとしたまちづくりをしていきます。さらにまちの中に町民がスポーツや文化活動を通して、充実した人生を送れるようなムーブメントができればと思っています。

議長 議会として行っている活動をさらに充実させていきたいですね。現在議員の活動量調査を実施しています。
 議会が様々なことをやれば活性化していきます、それが議会改革に繋がっていきます。今後も頑張ります！



一歩ずつ確かな議会改革を



あんさい よしかず
安斎 良和さん
(槻木新町)

- ①災害への不安をなくし、安全安心な生活を送りたい。
- ②幼児と高齢者がともに遊べる「サロン」を!



いなむら ともえ
稲村 智恵さん
(槻木駅西)

- ①様々な分野でチャレンジして、夢や目標を叶える。
- ②子育て世代や若い人達の発想も率先して聞いてもらいたい。



いしかわ たけし
右川 武志さん
ともみ
智美さん
(船岡土手内)

- ①夫婦お互いに笑顔で過ごせること。
- ②歩道整備。歩行者や自転車が安全に通行できるようにしてほしい。



おくやま かずこ
奥山 和子さん
(船岡八入)

- ①心豊かに日常を送りたい。
- ②気象変動に危機感をもって、幼児弱者へのケア体制を整えてほしい。



やなぎさわ ゆうじ
柳澤 裕二さん
じゅり
樹李くん
(槻木東)

- ①早寝早起き朝ごはん! 健康と無事故の一年を!
- ②排水機場の整備で、町民を災害から守る対策をお願いします。



おおの りょう
大野 諒さん
(下名生)

- ①仙南青年フェスティバルの司会を務めあげる。
- ②青年層が主体となったイベントの企画立案ができる機会や場所をつくってほしい。



しみず りょうすけ
清水 良介さん
(槻木上町)

- ①PTA 活動にやり甲斐を感じられる活動の機会を見出したい。
- ②世界に羽ばたく人材を育成する教育環境を整えてほしい。

2020年
私のひと言!

①今年の抱負 ②町に望むこと

町民の皆様から
今年の抱負を聞きました!



あいばら たかし
相原 孝さん
まきこさん
まき子さん
(槻木松ヶ越)

- ①今年こそ災害がなく、家族が健康で明るい年にしたい。
- ②高齢者も多く、命を守る対策をお願いします。



わたなべ よしのり
渡辺 良則さん
(西船迫)

- ①今年の夏まつりもがんばるぞ。
- ②爺・婆・孫とみんなで楽しめるイベントを。



かとう えみ
加藤 恵美さん
(槻木下町)

- ①開店して10年目になるので、今後も健康で頑張りたい。
- ②槻木駅へのアクセスがわかりにくいので、標識などを考えて。



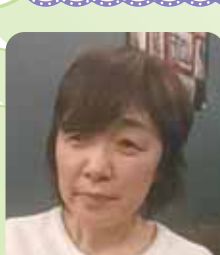
えちぜん やすひろ
越前 康宏さん
(槻木東)

- ①空き家も含めた住宅の活性化を目指します。
- ②役場本庁舎の早期改修を。



さいとう まゆ
齋藤 麻夕さん
(東船岡)

- ①次代を担う子ども達を、健やかに育てたい。
- ②町の教育機関と連携しながら協働作業で望みたい。



おがた ちよみ
小形 千代美さん
(西船迫)

- ①老後の貯金と貯筋を頑張る。
- ②役場職員は、働き過ぎではないでしようか。



いへむら みちこ
家村 美智子さん
(船岡新栄)

- ①孫の成長が楽しみなので、健康第一で過ごしたい。
- ②災害や防犯対策に充実した安心安全な町。

ご協力いただきました皆様、ありがとうございました! 議会としても住みやすいまちづくりに取り組んでいきます。

に動く議会！！

各議員から寄せられた主な情報を分類し、緊急的なものは、直ちに各課へ伝達し、それ以外は今後、各常任委員会として検討していくこととした。



台風19号関連の被害が甚大なことから、10月15日（火）午後2時30分に「議会災害対策本部会議」を招集し、対策本部で行う内容や被害状況今後の対策などを確認しました。

☆主な情報内容（抜粋）

- ①道路関係
道路冠水や通行止め、渋滞など情報の伝達、バリケード設置など…………… 6件
 - ②避難所関係
避難所での食べ物や、開設、閉鎖の状況把握など……………13件
 - ③災害ごみ関係
災害ごみ置き場の周知や、稲わら、土砂の処置について……………10件
 - ④冠水対策関係
土のうステーションの増設や、排水ポンプの稼働情報、道路の嵩上げ、平常時の側溝清掃など……………13件
 - ⑤その他
町からの情報発信や、り災証明の手続き、みなし仮設など…………… 6件
- 合計48件の情報を確認し、対策について協議した。

発災後現場に駆け付け、各議員が撮影したものです



船迫公民館裏側



国道 349 号線みやぎ生協倉庫付近



槻木小学校付近



下名生地区の排水作業



槻木郵便局付近

台風19号関連

災害対応

各常任委員会での災害現場調査

総務 常任委員会

調査日 令和元年12月12日

「土のうステーション」を調査

- ・船迫生涯学習センター・農村環境改善センター
- ・槻木生涯学習センター・柴田消防署槻木派出所

「備蓄倉庫」の設置場所を調査

- ・地域福祉センター

「災害ごみ」置き場を調査

- ・旧トッコン跡地



文教厚生 常任委員会

調査日 令和元年12月19日

「公共施設」の調査

- ・船迫公民館（床上浸水）
- ・阿武隈川運動場（土砂の堆積）

産業建設 常任委員会

調査日 令和元年12月9日～10日

「ため池」を調査

- ・唐目土ため池（入間田）・押茂下ため池（上川名）

「排水機場」を調査

- ・船岡五間堀排水機場・三名生排水機場

「水門」を調査

- ・仮又坂第2樋門（船迫）・岩ノ入水門（本船迫）
- ・槻木用水新旧分水工水門（本船迫）

「調整池」を調査

- ・鷺沼排水区5号調整池



一般会計予算

に増額！

16億420万円

増額補正！

被災支援策は？

議案第48号 町税の減免に関する条例

議案第49号 介護保険料の減免に関する条例

今回の台風災害の被害者に対し、町民税、固定資産税、都市計画税、国民健康保険税及び介護保険料が、居住する住宅などの損害割合に応じて減免されます。

10月12日以降、令和2年3月31日までに納期限が到来する平成31年度分が対象となります。

○詳しくは、税務課または福祉課までお問合せください。



東船迫地区(10月13日午前9時ごろ)

12月会議は、12月2日から5日までの日程で開催されました。

今回は、専決処分4件、人事案件10件、条例10件のほか、台風19号災害復旧関連事業を含む一般会計補正予算などが提案され、審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。一般質問では、台風災害関連項目を中心に、13人の議員が行いました。

災害復旧は？

公共土木施設については、公共土木施設災害復旧事業補助金として、約4億4,080万5千円を国に申請。12月16日から公園災害査定。令和2年1月27日から道路災害、河川災害の査定が行われました。

町単独費による災害復旧は、道路40カ所、河川9カ所、公園13カ所の合計62カ所を工事費6,656万円で予定しています。

農林業の公共施設では、農道10カ所、林道10カ所、ため池など水利施設36カ所、農地や土地改良区施設など13カ所の合計69カ所（被害想定額2億6,039万円）のうち、17件、1億5,620万円を災害復旧事業として申請予定です。補助事業に該当しない施設は順次、復旧工事を行います。



えぐられた町道(富沢地区)

人事案件

○監査委員の選任に

同意

大宮正博氏(再任)

(成田)

○農業委員の任命に

同意

渡邊政芳氏(新任)

(四日市場)

根元俊一氏(再任)

(中名生)

関哲也氏(再任)

(本船迫)

日下好則氏(新任)

(富沢)

岩間良隆氏(再任)

(船迫)

青野礼子氏(新任)

(富沢)

佐藤健氏(再任)

(入間田)

加茂富枝氏(再任)

(下名生)

加藤一郎氏(再任)

(上川名)

12 月会議

台風災害対策を最優先

質疑 地域福祉センター空調機器設備の復旧工事では、また同じことが起こらないように、システムを変更する必要があるのでは。

答弁 現在灯油ヒートポンプ式で冷暖房を管理しているが、浸水で室外機が水没し使用できない。設置後、約20年が経過し設置当時のメーカーも今は灯油ヒートポンプ式を製造しておらず、電気式の空調機器に入れ替える。

議案第54号 一般会計補正予算
地域福祉センター災害復旧
補正額 7千510万円

議案第44号 会計年度任用職員制度が創設

一般職の非常勤職員等の任用の確保を目的に「地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律」の施行に伴い、会計年度任用職員制度が創設されました。

このことから、会計年度任用職員の給与及び費用弁償について規定するため、新たな条例が提出され可決しました。令和2年4月1日から施行されます。

採用期間の縛りは

質疑 本町では5年を過ぎると翌年は採用されないこととなっていたが、今後は継続されるのか。

答弁 今までの5年間の縛りはなくなる。非常勤職員と任期付き職員は、そのまま移行すると思われる。

支給額は

質疑 現行と比較し支給額に変更はあるのか。

答弁 仮に事務員の場合、現行830円が897円になるなど、いずれの職種でも現行を下回らない。

運動場樹木剪定

補正額 232万円

質疑 総合運動場のヒマラヤシダの剪定内容は

答弁 多目的グラウンド西側63本を、高さ3メートル以上で芯止めし、枝も落とす。

質疑 球場の外野周辺で、球場内にはみ出している桜の枝も剪定するのか。

答弁 駐車場内も含めて、球場のレフト側やライトのフェンスからはみ出している枝も剪定する。



ふるさと納税 2億3,800万円に！
今年度3億5,000万円を見込む

7月会議では、総額2億円の寄附を見込んでいましたが、11月末で、昨年度の実績を越える寄附が集まりました。順調に寄附が集まることから、年度内の寄附総額を3億5千万円と見込み、増額補正を行いました。

ふるさと柴田応援寄附金

令和元年11月30日現在

用途(項目)	寄附申込額
1 桜のまちづくりに関する事業	1,878万5千円
2 教育に関する事業	2,063万9千円
3 福祉に関する事業	1,067万5千円
4 まちづくり(地域づくり)に関する事業	585万円
5 総合体育館建設に関する事業	89万円
6 図書館建設に関する事業	204万5千円
7 学校給食センター建設に関する事業	580万5千円
8 自治体におまかせ(災害支援寄附含む)	1億7,340万6千円
合計	2億3,809万5千円

台風19号災害に対する補正内容と予算額

事業名	予算額
住宅応急修理事業費	1億4,925万円
災害廃棄物処理委託料	2億2,061万円
農林水産施設災害復旧事業	2億1,722万円
土木施設災害復旧事業	5億2,182万円
槻木中学校廊下災害復旧工事	200万円
船迫公民館災害復旧工事	3,773万円
地域福祉センター災害復旧工事	7,510万円

令和元年度補正予算(12月会議)

会計区分	補正額	補正後の額	
一般会計	16億420万円	156億5,505万円	
特別会計	国民健康保険事業	5,251万円	40億6,427万円
	公共下水道事業	—	16億4,247万円
	介護保険	—	30億6,485万円
	後期高齢者医療	226万円	3億9,537万円
	水道事業会計	△23万円	12億1,799万円

本会議出欠状況・議案などの審議結果

●本会議出欠状況及び審議結果一覧（12月会議）

区分	主な内容及び件名	月日	出席者数	賛成	反対	議決結果	森裕樹	加藤滋	安藤義憲	平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	斎藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	安部俊三	森淑子	広沢真	有賀光子	舟山彰	白内恵美子	水戸義裕	高橋たい子
本会議	町政報告、議案説明、議案審議(人事案件)	12.2	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	12.3	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	12.4	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問、議案審議(条例案件、各種会計補正予算)	12.5	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。

審議結果	議案第33号～第43号	12.2	18	17	0	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第44号～第59号	12.5	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。 ※「議」は決時に議長のため、また、「-」は議場にいないため表決に参加していないことを表す。

○議案等の内容（令和元年度柴田町議会12月会議）

件名	件名
議案第33号 監査委員の選任 6ページに掲載	議案第50号 柴田町公民館条例の一部改正
議案第34号 農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合について ・認定農業者の数が農業委員会委員の過半数に達しなかったため、4分の1を認定農業者とするためのもの。	議案第51号 しばたの郷土館条例の一部改正
議案第35号～第43号 農業委員会委員の任命 6ページに掲載	議案第52号 柴田町農村環境改善センター条例の一部改正 ・運営等の統一性を図り、利用形態の実情を考慮した見直しを行ったもの。
議案第44号 柴田町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例 7ページに掲載	議案第53号 柴田町道路占用料条例の一部改正 ・「道路法施行令の一部を改正する政令」の施行と消費税及び地方消費税の税率改正に伴うもの。
議案第45号 柴田町職員の給与に関する条例等の一部改正 ・国の人事院勧告を踏まえ、職員及び任期付職員の月例給並びに勤勉手当の引上げ等についての改正を行うもの。	議案第54号 令和元年度柴田町一般会計補正予算 ・16億420万2千円増 7ページに掲載
議案第46号 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 ・成年被後見人等であることを理由に資格、種類、業務等での不当な差別がなされないよう関係条例において所要の整備を行うもの。	議案第55号 令和元年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算 ・5,250万8千円増 保険給付費の増額
議案第47号 柴田町下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例 ・柴田町下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用するために、必要な関係条例を整備するもの。	議案第56号 令和元年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算 ・職員手当や地方公営企業法の規定を適用することに伴う諸費用の増と下水道受益者負担金事業費の減。予算総額の増減はなし。
議案第48号 令和元年台風第19号による災害被害者に対する町税の減免に関する条例	議案第57号 令和元年度柴田町介護保険特別会計補正予算 ・居宅介護サービス給付費等の減額、施設介護サービス給付費、地域密着型介護予防サービス費等の増額。予算総額の増減はなし。
議案第49号 令和元年台風第19号による災害被害者に対する介護保険料の減免に関する条例 6ページに掲載	議案第58号 令和元年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算 ・225万5千円の増 保険基盤安定繰入金増額。
	議案第59号 令和元年度柴田町下水道事業会計補正予算 ・人件費の減額、債務負担行為の追加等。

町政への あなたの思い

質問 質問 質問 質問 質問 ママタタ!

【目次】

ページ	質問者（登壇順）	質問項目
9	平間奈緒美	古河水門の今後の対策は
10	吉田 和夫	孤立した地域で緊急支援の場合は
	舟山 彰	剣水地区の野外拡声器の活用は
11	斎藤 義勝	災害廃棄物処理計画の策定は
	森 淑子	消防団員に特別手当を
12	秋本 好則	行政の結果責任は
	水戸 義裕	自主防災組織の活動中、万が一の補償は
13	白内恵美子	被災地区で年内に住民懇談会の開催を
	平間 幸弘	農業施設への被害対策は
14	広沢 真	台風時の情報共有と教訓をどう生かすか
	森 裕樹	阿武隈川運動場の復旧は
15	安藤 義憲	古河水門に常設の排水ポンプの設置を
	有賀 光子	乳幼児ミルクも備蓄すべきでは

※その他の質問は16ページに掲載しています。

一般質問は、12月3日から5日までの3日間で行われ、13人の議員からは台風19号による大災害関連の質問が集中しました。その内容について、ダイジェスト版でお知らせします。
詳しくは、QRコードから一般質問の録画映像をご覧ください。



平間奈緒美 議員

Q 古河水門の今後の対策は



A 排水能力を高める工夫をする



ゴルフ場内の土砂崩れ現場

問 台風19号による町の対策は。

町長 新たなポンプ場の整備は、国や県に要望していくが、相当な時間がかかるため、阿武隈川や白石川の雑木の伐採や堆積土砂の撤去を要望する。また、中小河川のしゅんせつ、排水ポンプ車による排水能力の向上を行うとともに、船岡五間堀などへの水位監視カメラの設置などを検討していく。ソフト面では、自分の命は自分で守ると

いった意識の向上と自発的な避難行動の醸成を図ることや、自主防災組織による地域の防災力の強化が今後の対応策と考える。

問 古河水門の今後の対策は。

町長 東船迫地区の冠水は、槻木旧排水路が槻木に流れるゴルフ場内で土砂崩れによって止まり、ダム化したため。今後、仮設排水ポンプの台数の増加と国や県に対し、排水ポンプ機材などを要望

していく。地区外排水路や槻木旧用水路のしゅんせつを実施するなど、排水能力を高める工夫をする。なお、大河原土木事務所からは、令和2年2月に、古河水門のはげ口部付近のしゅんせつを含めた撤去作業を行うとの回答があった。

問 情報発信について、フェイスブックの活用を。

町長 多くの住民に対する情報周知の手段として検討をしていく。



吉田和夫 議員

Q 孤立した地域で緊急支援の場合は

A ドクターヘリにつなげる



孤立した松ヶ越地区

問 孤立した地域で緊急支援が必要になった場合の対応は。

総務課副参事 自衛隊や消防署のボートで救助し、それからドクターヘリにつなげるしかないと考え、空き地を利用した、ヘリポートを検討すべきでは。

問 狭小地での救助や病人がいた場合に、県のドクターヘリが対応できるのか調査する。

総務課副参事 松ヶ越地区では、命をつなぐ道路を検討

問 正確な防災情報の伝達は。

するという回答があったが、本当に検討するのか。幹線町道として3本あり、どこが一番効率的か話し合っている。

都市建設課長 マイ・タイムライン（防災行動計画）の推進は。

町長 マイ・タイムラインは、現在作成中の防災マップに盛り込む。完成後には町内全戸に配布し、その後説明会を開催する。

問 正確な防災情報の伝達は。

正確な情報を多くの町民に伝えるためには、自主防災組織による呼びかけが一番効果がある。さらに、町ホームページ、メール配信、発後は紙ベースでの情報発信を加える。

町長 今回の教訓を生かし、ボートを準備しては、消防団長と相談し、訓練をした上で、物の輸送のためのボートを検討する。

台風19号で被害に遭われた方々にお見舞い申し上げるとともに、早くもとの生活に戻るよう願っている。今回の台風19号について、住民から執行部や議員に寄せられた情報や意見、苦情などについては、11月11日の議員全員協議会での執行部からの説明や議員同士の情報共有である程度わかった。しかし、住民からは刻一刻と苦情や問い合わせが寄せられており、また、私なりに確認した

いことがあるので問う。

問 本町から、避難に関する情報がマスコミや携帯電話を通じて流されたが、スマートフォンなどを使わない高齢者に町の情報が伝わったのか、広報車は巡回しなかったのか、被害の大きかった剣水地区では集会所にある野外拡声器を活用したのか。

町長 当時は短時間に記録的な豪雨となり、広報によるアナウンスや野外拡声器の内容が聞こえ

にくいことや、冠水などで消防団員などに危険が及ぶ状況となっていたため、今回は使用しなかった。

問 支援事業の一覧表では、床下浸水には支援がない。これらの被害への支援の拡充を、国に要望していくべきでは。

町長 各自自治体とも、床上浸水した住宅の応急修理制度の拡充などを要望しており、今回の本提案に賛同する自治体はなかった。

Q 剣水地区の野外拡声器の活用は

A 豪雨の中では聞こえにくい



舟山 彰 議員



剣水地区の野外拡声器

一般質問



高藤義勝 議員

Q 災害廃棄物処理計画の策定は

A 時間と費用を要するが、今後検討する



大量に積まれた災害ごみ

今年も、これまでに台風や豪雨による災害が全国各地で発生している。災害時には、人命救助やライフラインの確保が最優先となる。それとともに、その後には、大量に発生するごみの処理問題も必ず発生する。

問 先日、仙南2市7町の災害ごみは2万トナとなっていたが、最終的災害ごみの全体量は。

町民環境課長

現在、6万4千トナ強と推計されている。

問 仮設焼却炉の設置や旧角田衛生センター

の再稼働の動きは。

町長 仙南地域広域行政事務組合で検討したが、多額の費用や時間を要し、また、再稼働するための補助制度がないため、現在、県内外への広域処理を考えている。

問 災害ごみの受け入れ先の確保はどうなっているか。

町長 なかなか広域処理が進まないが、横浜市では丸森町が終わった後に、改めて焼却できるかどうか検討される段階にある。

問 環境省の定める災害廃棄物処理計画は。

町長 計画策定には、地震や水害等の被害想定を行い、搬出する災害ごみの量を推計し、また排出量に見合った仮置き場の選定を行う必要があるため、時間と費用を要する。さらに、仮置き場の選定には、住民の理解が必要となるので、新ハザードマップも参考にしながら今後検討していく。

問 台風19号襲来の際、町の消防団員は12日夕方から町内の見回り、仙南中央病院入院患者の垂直避難、敷地内の排水活動、河川堤防の監視、冠水地の排水活動などで夜を徹して活動した。消防団員は、非常勤特別職の地方公務員である一方、他に本業を持ちながら参加している。現在の出勤手当は1日2千円で翌日にまたがった場合は、2日分で4千円が支給されるのみである。不眠不休

Q 消防団員に特別手当を



森 淑子 議員



A 前向きに検討する

の作業をした団員に対して特別手当は出せないか。

町長 台風19号による消防団員の活動は、12日から14日まで3日間にわたり、昼夜を問わず危険を背負いながら、延べ428人に活動していただいた。特別手当は前向きに検討する。

問 ボート配備の検討を。

町長 ボートを置くスペースや輸送手段の確保の問題、また、訓練を積んだ者でないと二次被害

の恐れがあるため、消防団と相談の上検討する。

問 ライフジャケットも必要では。

町長 水防団が、水害の時に土のう積みやシート張り、広報などの活動を行う場合には危険が伴うことから、ライフジャケットの購入については水害のリスクが高い地区の消防団から順次配備する。



2年に1度実施される水防訓練



秋本好則 議員

Q 行政の結果責任は

A 人命に関しては責任を果たしたと考える



船迫公民館前

問 私は行政のあり方はある意味、結果責任と
思う。考えを問う。
町長 人命に関しては責任を果たしたと考える。町で作るハザードマップに内水情報が入っていない。水防法で義務化されているが、県から作るよう文書通知されている。平成30年に災害被害追加され、液状化の基準が準用されたが運用は。

総務課長 一件該当したが、基準を満たさず、通常の判定になった。

問 大雨警報が解除されても、家に寝泊りできる状況にはならない。避難所を午後5時に閉鎖予定とした判断は。

総務課長 大雨特別警報などの解除、避難者の減少やライフラインに影響がなかったためである。

問 被災者は風呂がなく困っていた。ゴルフ場や仙南プール、仙台大に温水シャワーがあると

福祉課長 公共施設の活用は考えたが、民間施設までは至らなかった。思うが検討はしたのか。

問 住民の生命財産を守る。次年度の桜まつりを中止し、費用を被災者支援に回すことを提案する。

町長 一般財源で公共土木に2千900万円。一般質問にない個人の意見を最後に言うのはいかがなものか。

災害時に生命・安全を守るための自主防災組織の活動の状況、今回活動した・しないについて、町は聞いているのか。詳細について問う。
問 消防団と自主防災組織とは連携しているのか。
総務課副参事 消防団と自主防災組織の連携については、町では把握していない。連携の取れているところと、あまり取れていないところがあると思っている。

Q 自主防災組織の活動中、万が一の補償は



水戸義裕 議員



A 行政側の補償はない

問 仮称、自主防災組織連絡協議会をつくるよう、平成19年に提案しているが、その後どうなっているか。
総務課副参事 以前、連絡協議会をという話があったが、当時は組織ができたばかりだった。それから8年経過しているので、今後の区長会議などでこちらから声がけし、地域の自主防災組織活動の底上げを図っていききたい。

問 自主防災組織の活動中、万が一の場合の補償はどうなるのか。
総務課副参事 行政側としての補償は、今のところはない。
問 災害対策基本法にのっとり、住民の安心・安全のために町がやっていることを、自分たちで評価してはどうか。
総務課副参事 町として積極的にかかわっているつもりであるが、他市町に比べれば、まだまだという部分も確かにある。



訓練なくして本番なし

一般質問

町長 防災マップ配布後に懇談会を開催する。古河水門の開閉操作や仮設ポンプの稼働状況、船岡五間堀・三名生排水機

問 台風19号は町内に甚大な被害をもたらした。自然災害は行政だけで対応できない。住民の協力を得るには、情報の共有と話し合いが必要である。

問 なぜ多数の床上・床下浸水が起きたのか

地域ごとの水の流れを分析し、住民懇談会を開催して説明すべきでは。

問 広報しつぱた12月号を「読んで納得できる人はいないと思う。なぜ内水が一気に上昇したのか、町は情報を提供したつもりだが、住民には分から

問 被災した地域は年内に開催すべきでは。

問 被災した地域は年内に開催すべきでは。

総務課副参事 防災マップに浸水区域や内水に対する備えを盛り込み、それを見ながら状況を伝えた方が効果的。マップ納品は1月下旬頃なので、その後に懇談会を開催する。

町長 ある程度の中長期的な対応策を持つて臨んだ方が、前向きな意見交換になる。対応策を固めてから開催する。

町長 中途半端な説明では明すべきでは。

町長 誤解を生む。町だけで内水対策はできないので、県の対策の概要ができた段階で臨みたい。

問 今、町ができることは住民の声を聴くこと、現段階で町ができることを伝えることでは。

Q 被災地区で年内に住民懇談会の開催を



白内恵美子 議員

A 防災マップ配布後の2月頃に開催する



東船迫の水没した公園



平間幸弘 議員

Q 農業施設への被害対策は

A 来春作業前に完了できるように進めていく



湖と化したほ場

問 台風19号と21号に伴う大雨により農業施設へも甚大な被害をもたらした。町の対応及び対策は。

町長 農林業の公共施設については、農道10カ所、林道10カ所、ため池、農業水利施設36カ所、農地や土地改良区施設など13カ所で、合計69カ所、被害想定額は2億6千39万4千円で、うち17件、1億5千620万3千円を災害復旧事業として申請する予定。災害査定に該当

しない公共施設については、順次復旧工事を行う予定である。

問 ため池の堤体が崩壊している。復旧も大事だが、その利活用を考える時期では。

町長 ため池を廃止する場合、取水施設と堤体の撤去、法面の整備や沢側の土塁工事など、災害復旧より多額の費用を要し、事業の補助率も50%となっている。今回、堤体が崩壊したため池は、災害復旧事業とすること

で地域の理解も得ている。

問 農道の路肩が崩落し、ほ場に流入した土砂の撤去は。

町長 ほ場整備に流入した土砂が町道や農道から流出したものであれば、災害復旧工事の際に、道路管理者において撤去することになる。

問 農道も含めて、復旧作業の完了はいつを指しているのか。

農政課長 遅くとも春作業前に完了できるよう、進めていきたい。



広沢 真 議員

Q 台風時の情報共有と
教訓をどう生かすか

A 情報発信について
再検討を要する



命を守る行動を

問 メディアやエリアメールでの情報提供で、優先的に避難を喚起する地名や避難場所を伝える必要があるのでは。

町長 避難情報については、危険度の高まりに応じて段階的に地名で周知することは効果的と考えますが、以前の豪雨被害時に地名が上がった地域以外が「大丈夫」と思われ避難が遅れたことがあったため、地名を周知するのも難しい判断だ。

問 広報車を使用しての周知について、拡声

町長 器の性能や話す内容の検討が必要では。激しい雨の時は音が聞き消されてしまうこと、機密性の高い住宅が増えたことでアナウンスが聞こえない問題が指摘されている。広報車での伝達は限界があるが、簡潔で分かりやすい表現方法などで伝えることを検討していく。

問 避難所への避難に際して、「避難弱者を連れて行くべきか、自宅で備えるべきか迷った」という意見が出ている。

町長 避難をすることに對する心理的なハードルを緩和する対策が必要では。

福祉課長 議員が言うとおり、今回自宅から避難しなかった例があった。高齢者世帯、一人暮らしの高齢者などの避難対策は考えていかなければならない。今後、要介護認定時など、地域包括支援センターで、災害の種類で避難方法が変わると周知したうえで、避難しても

このたびの台風19号は、記録的な強風と大雨をもたらし、各地で大規模な浸水などが起こった。本町でも大きな被害を受け、被災した方々が一日も早く普段の生活に戻れるよう、復旧に向けた取り組みを最優先で進めるべきと考える。その一方で、スポーツに打ち込んでいる子どもたちが利用する屋外運動場も被害を受け、使用できない状態にある。

町長 3万6千平方メートル余りの広さに平均10cmの厚さに土砂がたまり、また周囲の排水口にも土砂が流入している状況となっている。堆積した土砂の量は3千600立方メートルになると推定している。

問 本町でも甚大な被害を被ったことは、子どもたちも保護者も理解している。この災害によって、子どもたちの活力まで奪ってしまうようになっては、よくないと思う。業者と執行部がしっかり協力し合いながら、できるだけ早くグラウンドの復旧を願う。復旧の見通しは。

スポーツ振興課長 来シーズン中には何とかめどをつけたい。調整会議ではもっと丁寧な説明が必要だったのではないかと説明は十分したと思

Q 阿武隈川運動場の復旧は



森 裕樹 議員

A 来シーズン中にはめどをつけたい



大量の土砂が堆積したグラウンド

一般質問



安藤義憲 議員

Q 古河水門に常設の排水ポンプの設置を



A 国や県に対し、常設ポンプの整備を要望していく



台風一過の柴田町

台風19号の水害に対し町職員、自衛隊、消防隊員、消防団の活動に深く敬意を表する。

問 古河水門に常設ポンプを設置する考えは。

町長 今後の雨水対策として、国や県に対し、常設ポンプの整備を要望していく。

問 避難所開設に広報車の活用を。

総務課副参事 エリアメールを発信して、必要となれば広報車を出す。

問 ハザードマップで住民が知り得る情報は。

総務課副参事 2次避難所は全部で32カ所、福祉避難所9カ所を掲載している。

問 2・19の床上浸水家屋がなぜ半壊扱いになったのか。

総務課副参事 基準に基づいた調査の結果である。

問 西船迫6号公園前がかさ上げは考えているか。

都市建設課長 一定のかさ上げはできると判断している。

都市建設課長 L型側溝で雨水管に接続されている。枯葉や土砂がたまりやすい状況となっているかもしれない。しっかりと見ていく。

問 民地ががけ崩れを起こし道路をふさいでいる。いつ開通するのか。

都市建設課長 補正予算で工事費などを計上しているが、地権者と協議しなければ進められない。

問 西船迫3丁目付近の道路が冠水し、たびたび寸断されている。その対応は。

都市建設課長 一定のかさ上げはできると判断している。



有賀光子 議員

Q 乳幼児ミルクも備蓄すべきでは



A 粉タイプの乳児用ミルクを確保する



地域福祉センターの備蓄品

全国各地で自然災害が多く発生し、さまざまな課題が浮き彫りとなった。台風19号で町も今までにない浸水被害を受けた。

これから一人一人の防災力強化の意識を高めていく必要がある。

問 災害時の備蓄用品として、乳幼児ミルクも備蓄すべきでは。

町長 支援物資による調達で対応したい。優先避難所においては、最低限度の粉タイプの乳児用ミルクは確保したい。

問 備蓄品に液体ミルクを取り入れては。

総務課副参事 必要となった場合には検討したい。

問 防災士養成の進捗状況は。

町長 令和元年8月1日現在の防災士は8人で、今後は5人が受講予定となっている。

問 地区防災計画を策定すべきでは。

町長 地区防災計画に基づき避難行動は、命を守る上で有効と考える。町には、自主防災組織が

全行政区で設置されているが、残念ながら地区防災計画を策定している組織は11地区となっている。今後、新しい防災マップを今年度中に全戸配布し、説明会を開催する。地区防災計画の策定や、地域の見える関係づくりを呼びかけていく。

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

吉田和夫 議員

- 問 公用車にドライブレコーダーを設置しては。
 答 車両の前方を記録するタイプではなく、車両の前後を記録できるタイプを検討したい。

白内恵美子 議員

- 問 今年6月に、「読書バリアフリー法」が施行された。地方公共団体の責務は。
 答 視覚障害者などの読書環境の整備の推進に関する施策を策定し実施することである。
 問 公共施設電力調達的一般競争入札実施の時期は。
 答 一般競争入札を含めた電力の契約方法の見直しは、3年後をめどに実施したい。

安藤義憲 議員

- 問 いじめがもとで不登校になりつつあるような児童生徒を把握しているのか。
 答 そのような場合もあるが、学校では迅速に早急に対応している。

有賀光子 議員

- 問 虐待を受け心のケアが必要な子どもたちに対し、どのような対応をしているのか。
 答 適切な支援が行われるよう情報を共有し、役割分担を明確にし連携して対応する。

議 会 改 革

様々な自治体から
 視察にお越しいただきました。

平成31年度、令和元年度 視察来庁状況



1. 宮城県美里町議会

平成31年4月24日(水) 11人

- (1) 「開かれた議会」についての取組
- ・映像配信について
 - ・会議録の公開について
 - ・議会報告会について
 - ・ワールドカフェについて

2. 埼玉県宮代町議会

令和元年6月20日(木) 12人

- (1) 議会運営について(ワールドカフェ方式)

3. 秋田県横手市議会

令和元年7月23日(火) 9人

- (1) 議会改革の取り組みについて
- ・議会改革に取り組む組織体制について
 - ・正副議長選挙における立候補制の効果について
 - ・議会行動計画について
 - ・高校生との懇談会について

4. 青森県弘前市議会

令和元年7月26日(金) 5人

- (1) 議会改革について

5. 栃木県矢板市議会

令和元年8月28日(水) 10人

- (1) 「執行部への反問権付与」及び「議員間の自由討議」について
- ・取り組みに至る経緯
 - ・取り組みの成果、今後の課題と展望

6. 和歌山県上富田町議会

令和元年10月16日(水) 12人

- (1) 防災について
- ・沿岸部自治体への後方支援等
- (2) 議会改革について
- ・ワールドカフェを用いた住民との懇談会
 - ・議会運営
 - ・反問権の導入等その他の議会改革

7. 福岡県須恵町議会

令和元年11月13日(水) 9人

- (1) 医療費削減の取り組みについて

8. 岩手県一戸町議会

令和2年1月23日(木) 9人

- (1) ワールドカフェの取り組みについて
 (2) 議員間の自由討議について

総務

ハザードマップ作成の進捗状況

■調査内容

- ①柴田町ハザードマップ作成の進捗状況
- ②公共施設等総合管理計画個別施設計画
- ③仙南クリーンセンター及び最終処分場の現況【仙南地域広域行政事務組合視察】

■調査結果

《総務課》

- 防災マップにマイタイムラインなどの項目が増え、当初の計画よりも遅れている。町民にいち早く届くよう努めること。

《財政課》

- 柴田町公共施設個別施設計画(案)は、広報しばたに掲載するなど、町民に周知し幅広く意見を求め計画に反映させること。



常任委員会レポート

各常任委員会では、法令に基づき各課の仕事を調査しています。

●総務常任委員会

令和元年10月8日～9日

●文教厚生常任委員会

令和元年10月11日

●産業建設常任委員会

令和元年9月19日～20日



産建

ほ場整備の現況と課題

■調査内容

- ①ほ場整備事業の現況と課題
- ②町有林の現況と課題
- ③創業支援・起業支援の現況と課題

■調査結果

《農政課》

- 森林環境譲与税が導入されたことから、これを効果的に活用し、森林整備の促進など、事業をさらに進められたい。
- 樹幹に溝ができて内部が腐朽していく「溝腐病^{みぞくさびょう}」という被害を耳にするようになった。樹木が健康に生長する環境をさらに整えられたい。



文教

しばた健康づくりポイント事業

■調査内容

- ①歩くまち柴田推進委員会の開催状況
- ②しばた健康づくりポイント事業

■調査結果

《健康推進課》

- 歩くまち柴田推進委員会は各課が横断的に連携し活動している。さらに多くの町民が外に出て歩きたくなるような取り組みを進めること。
- しばた健康づくりポイントカードは有効期限が年度区切りとなっていることから見直しを検討すること。
- みやぎウォーキングアプリの周知を図り、多くの町民に利用してもらえるよう働きかけること。



察報 告

2年に1度先進地に学び
町政へ反映します

総務 常任委員会

視察テーマ「移住定住促進の取組み」

日程 令和元年10月23日～25日

岡山県笠岡市

◎移住定住促進への取組み方について

市長を本部長とする定住本部会議を開催し、笠岡市定住促進ビジョンを策定している。定住促進センターを核として、シティープロモーションなどさまざまな事業が展開されている。

○委員会の視点

人口減少について全庁あげ民間と連携し総合的な観点から取り組んでいた。子どもたちの郷土愛を育て、町の魅力を伝承していくことの必要性を感じた。

岡山県赤磐市

◎移住定住促進への取組み方について

「人口減少を食い止め人口を維持・伸長させる」ことを全体で取り組み、岡山県空き家情報流通システムを官民共同で連携し情報を提供している。

○委員会の視点

行政、企業、住民が包括的に一丸となり移住定住施策に早期に取り組むことの重要性を感じた。



文教厚生 常任委員会

視察テーマ「健康寿命の延伸」

日程 令和元年10月30日～11月1日

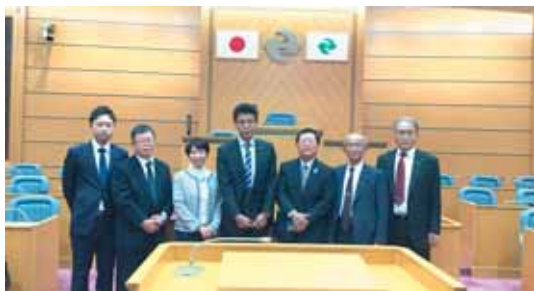
兵庫県川西市

◎健康寿命の延伸に関する取組みについて

健康で長寿であることを意識付けるため「健幸まちづくり」の実現に向け、市全体で取り組む「いきいき健康プロジェクト」を展開している。

○委員会の視点

本町の健康づくり施策のバージョンアップを図っていきたい。



京都府精華町

◎せいか365プロジェクトについて

精華町365推進体制として「精華町健康増進に係る庁内推進本部」を設置し全庁あげて取り組んでいる。

○委員会の視点

本町も健康づくりや介護予防の活動はしているが精華町の活動を参考にし、健康づくりの充実と発展を働きかけたい。

大阪府高石市

◎スマートウェルネスシティたかいしの取組みについて

高齢化の進展で扶助費の伸びを緩和させるため医療費の抑制を図る「健幸」なまちを目指す。

○委員会の視点

全町的に健康なまちづくりを進め、健康施策を進化させたい。

先進地視

産業建設 常任委員会

視察テーマ「町のにぎわい創生」

日程 令和元年10月9日～11日

愛知県岡崎市

◎得するまちのゼミナール「まちゼミ」について
商店主と商工会議所が活性化へのアイデアを持ち寄り「まちゼミ」を実施している。

○委員会の視点

町のスペースの使い方と、にぎわいづくりの担い手が本町の課題である。

愛知県安城市

◎アンフォーレについて

図書情報館やホールがある本館、広場や公園、民間経営による複合施設を見学した。



岐阜県多治見市

◎都市計画マスタープラン・立地適正化計画について
第7次総合計画と都市計画マスタープランの整合性を図るとともに空き家対策をさらに強化する。

○委員会の視点

2年間と限られた期間で策定となるが、多治見市のように2次、3次の見直しも必要ではないかと考える。

◎たじみビジネスプランコンテストについて

空き店舗への出店促進を図り町を活性化させよう、市全体を元気にしようと企画している。

○委員会の視点

本町も直接、商店街に働きかける専任の人材を育成すべきと考える。

議会広報 常任委員会

埼玉県寄居町議会
埼玉県小川町議会

令和元年
11月12日～13日

◎議会だよりの編集について

○委員会の視点

両町とも、広報紙は町民に読んでもらうための工夫、町民の参加を重点に置き議会広報紙を編集していた。より議会を知ってもらうため、改善できるところからすぐに着手すべきだと強く感じた。しっかりと生かしていきたい。



議会運営 委員会

愛知県安城市議会

令和元年
7月9日～11日

◎議会ICT化の取り組みについて

岐阜県可児市議会

◎予算決算審査サイクル

◎ママさん議会の取り組み

○委員会の視点

安城市はICT化推進の効果を議論し実現していた。可児市では議会政策サイクルを実現するための改革を行っている。本町議会も議会改革を進めるため、しっかり取り組んでいきたい。



あなたの一言



伊東 奈穂子 さん
(槻木上町在住)

●柴田町に住んで感じたこと

一時離れた時期もありましたが、やはり「桜」がメインの町で四季が感じられるところがとても良いと思います。特に船岡城址公園では、四季折々のイベントもあり、賑やかな町だと思っています。

●柴田町で好きなところは？

槻木の葛岡山公園の桜もきれいです。また、公園から見る槻木の街並みの眺望も素晴らしいと思います。

●柴田町に何を望みますか？

台風被害が大きかったので、子どもからお年寄りまで安心安全に暮らせるまちづくりをお願いします。槻木地区の活性化につながるような活動をしている方も多くいますが、地

域の特性を生かしながら多くの人が集まるようなイベントをやってほしいと思います。

●議会だよりを読んでいただけますか？

時間を見ながら読んでいます。特に町の予算関連では、どんなことに使われているのか関心があります。

●議会・議員に何を望みますか？

町民の声を聞き、住みたい町、明るい未来が見えるような町にしてほしいです。これからも更なる活躍を期待しております。



■議会より一言
各地域の特性を生かしたまちづくりを提案していきます。

未来へ向けて

表紙について



1月2日、初売り（町内スーパーマーケット）に合わせ、災いをはらい願うことがかなうとのいい伝えがある獅子舞を槻木神楽保存会の皆様が執り行いました。

編集後記

台風19号はこれまでにない大きな被害を町にもたらしました。被害にあわれた皆さんに心よりお見舞い申し上げます。

昨年9月23日にニューヨークで温暖化対策サミットが開かれました。その際行われた、スウェーデンの少女グレタ・トゥーンベリさん（16歳）のスピーチが世界中の若者たちを動かし、賛同の輪が広がりました。これからの10年が人類の未来を決めると言われています。持続可能な世界を次の世代に引き継ぐために何をなすべきか、いま問われています。（森 淑子）

議会広報常任委員会	委員	安藤 義憲
委員長 森 淑子	委員	平間 幸弘
副委員長 加藤 滋	委員	吉田 和夫
委員 森 裕樹	委員	平間奈緒美

ぜひ、議会の傍聴を!!

3月会議は

3月2日(月) 午前9時30分開会予定

一般質問は

3月3日(火)・**4日**(水)・**5日**(木)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

町ホームページ 本会議審議等結果を掲載 各種会議の出欠状況

町ホームページ内、「柴田町議会」の中の「議会のうごき」に、議員（委員）の出欠状況も掲載しています。

柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください

このしばた議会だより167号は、約16,200部作成しています。1部当たりの経費は約45円です。